

里山で遊ぼう・レポ

山本 隆造

7月22日(土)「奈良県山の日、川の日」の協賛イベントとして、「夏だ! 休みだ! 里山で遊ぼう!」を開催しました。

猛暑の中、幼児を含む子ども24名、保護者23名、計47名の参加者とスタッフ33名のイベントでした。

9時半の受付開始前から参加者が来場し、子どもたちは早くも捕虫網を振り回し蝶など追いかけています。

10時からの開会セレモニーを終え、午前中予定の「飯ごう炊さんとカレー作り」に取り掛かります。4班に分かれ、各班世話役の指導の下、お米の準備、火起こし、野菜の準備など役割を分担します。お米をといだり、マッチで火を付けたり、慣れない手つきで野菜を切ったりと、普段あまりやったことのない体験に子どもたちは夢中です。

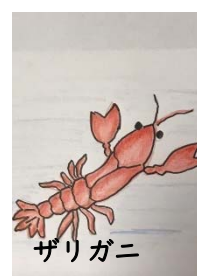


野菜の準備もでき、飯ごうでご飯もきれいに炊き上がりました。スタッフの協力でカレーが出来上がり、予定時刻に昼食です。自分たちで作ったカレーは格別のもので、「おいしい!おいしい!」と、お代わりの列が続いて大好評でした。



午後は気温も上がり熱中症警戒指数も上昇したため、予定していた昆虫採集は中止し、ビオトープの水生生物観察と里山遊びを2班に分けて行いました。

ビオトープでは、担当者から水生生物の話を聞いた後、池に網を入れエビ、ドジョウ、ザリガニなどの生き物を捕まえました。何度も網を入れる子、恐る恐るザリガニに触れようとする子、大きなドジョウを捕まえて自慢げな子、暑い中子どもたちの笑顔がはじけます。



里山遊びは、緑陰広場からロープを伝って急坂を登ります。滑りやすい急坂を苦労しながら登りついた先は遊びの森です。遊びの森では、丸太渡り、木登り、ブランコ、ハンモック、ミラーウォークやダルマ落としなど、時間いっぱい楽しみました。



お土産にジュズ玉のブレスレットと鹿の折り紙に加え、目玉のカブトムシ雌雄1対を虫かごに入れ、最後は残ったカブトムシのつかみ取りに子どもたちは大はしゃぎです。

予定の15時より少し前、大きなトラブルもなく無事終了することができました。

事前の準備、当日のお世話、会員およびスタッフの皆さま、暑い中お疲れさまでした。

